



TITLE:

表紙・編集後記・目次

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・編集後記・目次. 英文学評論 1962, 10

ISSUE DATE:

1962-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/134944>

RIGHT:

# 英文學評論

## 第 X 集

説得とドラマ……………嶋 原 真 一

——『ハムレット』第四幕第七場より——

ミルトンの失明をめぐる問題……………宮 西 光 雄

『ジョナサン・ワイルド』の周辺 (2)……………飯 沼 馨

アーノルドの古典主義 (1)……………川 田 周 雄

オックスフォード拝見……………佐々部英男

京都大学教養部英語教室

## 目次

説得とドラマ……………	嶋原真一……………(一)
——『ハムレット』第四幕第七場より——	
ミルトンの失明をめぐる問題……………	宮西光雄……………(一九)
『ジョナサン・ワイルド』の周辺……………	飯沼馨……………(二二)
アーノルドの古典主義……………(1)	川田周雄……………(二九)
オックスフォード拝見……………	佐々部英男……………(四三)

## 編集後記

一九五四年に創刊された『英文学評論』も、本号をもって、いよいよ十号を数えるに至りました。微力なわれわれではあります、一同力を合わせ、切磋琢磨をおこたらず、本誌をよりよきものにしてゆきたいものです。

本年度はじめ、新進気鋭の嶋原真一氏を教室に迎えました。が、早速、氏にもご苦勞を願ひ、本誌には全部で四篇の論攻を載せることができました。また、オックスフォードでの研究を終え、一年ぶりに歸られた佐々部英男氏からは、興味ふかい「オックスフォード拝見」をいただきました。寄稿諸氏に心から感謝いたします。

佐々部氏といれかわりに、松下千吉氏がコロンビア大学で研究のため渡米されました。トリリング教授の「ワーズワスとキーツ」の講義など、うらやましいかぎりです。

さきに帰国されたロージア・マシユーズ氏の後任として、デニス・キーン氏がみえられました。氏はオックスフォード出身。英語教授に関する氏の卓見をゆくりうかがうことも、いずれはできましよう。

なお、前号から続載の予定であった寺田建比古氏の「後期エリオットの根本問題」は同氏ご病氣のため、中断のやむなきに至りました。氏のご恢復を祈るとともに、次号に執筆いただくことを期待いたします。

(編集委員)

## 英文学評論 第十集

非売品

昭和三十七年二月二十五日 印刷  
昭和三十七年二月二十八日 発行

編集者 京都大学教養部英語教室

代表者 山村 武雄

印刷所 明文舎 印刷株式会社

京都市上京区今小路通御前西入ル

発行所 京都大学教養部英語教室

京都市左京区吉田二本松町

# REVIEW OF ENGLISH LITERATURE

VOL. X. February 1962

---

## CONTENTS

### A-Dramatic Function of Persuasive Argument

—From *Hamlet*, IV, vii.— ..... *Shinichi Shigihara*

Some Problems on Milton's Blindness ..... *Mitsuo Miyanishi*

On *Jonathan Wild* (2) ..... *Kaoru Inuma*

Classicism of Matthew Arnold (1) ..... *Kaneo Kawata*

Glimpses of Oxford ..... *Hideo Sasabe*

---

ENGLISH DEPARTMENT  
COLLEGE OF LIBERAL ARTS  
KYOTO UNIVERSITY